

ロシア為替週報

2021年10月11日 | みずほ銀行欧州資金部

＜過去1週間の動き＞

(10月2日～10月8日)

USD/RUB: 71.650～73.000

過去1週間のロシア・ルーブル相場は、上昇。7日には、対ドルで72を明確に上抜け、今年6月来4ヵ月弱ぶりの高値を更新した。ルーブル上抜けの要因は、ふたつ。ひとつは原油高で、この間、3年ぶりの高値となる80ドル/バレル台(ブレント)に高止まりした。もうひとつは、ロシア9月CPI上振れで、ロシア中銀による追加利上げ期待を強めることでルーブルを押し上げた。原油は、4日のOPEC+総会の減産幅削減(=増産)が、40万バレル/日にとどまった(注1)ことで80ドル/バレルを明確に上抜けて取引水準を切り上げ、6日までに、一時、83.88ドル/バレルまで上昇。しかし、同日のうちに「米が戦略的石油備蓄を放出する」との観測が広がり、急反落した。7日には、一時、79.57ドル/バレルまで急落したものの、その後、米燃料省から「戦略的石油備蓄を放出する計画はない」との発表があったことで、再び急上昇。局面の値動きとしては、7日のルーブル上抜けの材料にはなり得たが、この局面の高値は83.59ドル/バレルまで(8日)、6日につけた高値を超えることはなかった。6日までの原油急騰に反応薄だったルーブルが、7日になって突然原油に連れ高したのは、ロシアCPIの上振れ=ロシア中銀利上げ期待の高まり(上述)が重なったことが影響した。同指数発表は、現地時間6日夜のことだったが、翌7日のモスクワ時間朝から、ルーブルはめきめきと水準を切り上げ、対ドルで72を上抜けた。8日にかけて、一旦調整的な反落を見たルーブルだったが、同日発表された米9月効用統計(注2)が市場予想を明確に下ぶれたことで、ドルは全面安に。ルーブルも対ドルで再び水準を切り上げ、72を上回った水準で週の取引を終えた。

＜過去1週間に発表された主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
10/5	11:00	国民福祉基金(USD)	9月	191.0bn	+7.3%	190.5bn
10/6	16:00	CPI(前年比)	9月	+7.4%	+7.3%	+6.7%
10/7	13:00	外貨準備高(USD)	9月	614.1bn	619.0bn	618.2bn

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

＜向こう2週間の見通し＞

(10月9日～10月22日)

USD/RUB: 71.50～73.00

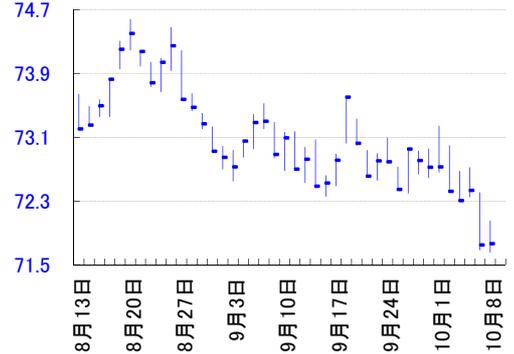
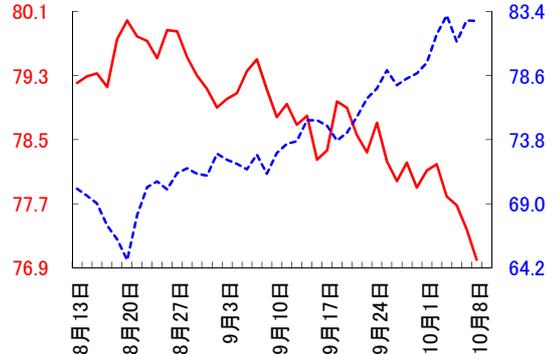
向こう2週間のロシア・ルーブル相場は、頭打ちからの調整安を中心に予想。ルーブル軟調を見込む理由は、①原油価格が天井に近いと見るから ②米雇用統計発表後のドルが予想外に底堅いと感じるから ③ロシア中銀利上げ期待が行き過ぎていると感じるから ④ロシア中銀利上げ期待の高まり(上述)が重なったことが大きい。天然ガスが6日の乱高下を経て、大幅に水準を切り下げていることが大きい。天然ガスの頭打ちは、取りも直さず、プーチン大統領が、「契約上の供給量以上のガスを欧州に供給する準備がある」と、ガス価格安定に乗り出す姿勢を示したことが大きい(6日)が、天然ガスの高騰は、「燃料価格高騰」という括りで、特に9月後半以降、原油価格押し上げにも大きく寄与してきたはず。②は、目の前の値動きが、ドルの底堅さを物語っている。対ユーロ、対ポンドなどでも、小幅下押しした程度で程なく反発している上、対円では、むしろ明確に水準を切り上げてしまった。敢えて理由を付けるなら、物価動向、賃金動向などに鑑みれば、米連銀の資産購入減速(テーパリング)のスケジュールは変わらないと読まれたのか、或いは、失業率の低下に、「就業者数の伸び悩みは求人不足よりも、就業忌諱の結果」との読みが共有されたのかもしれない。③は、9月利上げを+25bpに。とどめたことはロシア中銀「らしくない」と感じたものの、ナビウリナ総裁が「あと25bpを2回」と言った以上(9月10日)、今月、いかにも物価の後追いの50bp以上の利上げに踏み切ることは、更に一層ロシア中銀「らしくない」と感じられる。勿論、向こう2週間で、大幅利上げに向けた地均しに動く可能性は除外できないが、よくよく考えて、ロシア中銀は、「10月以降の物価急減速を見越している」と考えるのが、現時点で、最も納得のいく見方のように思われる。

＜向こう2週間に発表予定の主要経済指標等＞

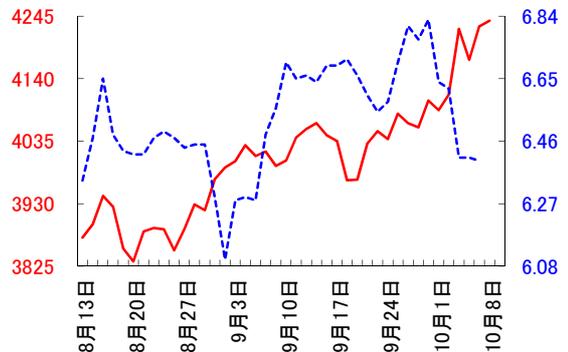
月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
10/11	13:00	経常収支(USD)	Q3 P		+30150mln	+18168mln
10/12	13:00	貿易収支(USD)	8月		+16.1bn	+23.2bn
10/12-10/14		財政収支(RUB/年初来)	9月		+1090.0bn	+934.4bn
10/22	10:30	1週間物入札金利			+7.00%	+6.75%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

USD/RUBの推移(日足/ロンドン7:00～17:00)

株ルーブル/バスケット推移(ロシア中銀公示)
原油価格推移(ブレント直物)

株式/金利相場の推移(MOEX指数/当翌物金利)



(資料: ロシア中銀/ロイター/ブルームバーグ)

ロシア関係主要経済指標

1週間物入札金利		6.75%
成長率(GDP/前年比)	Q2	+10.5%
失業率	8月	4.4%
消費者物価(前年比)	9月	+7.4%
小売売上高(前年比)	8月	+5.3%
鉱工業生産(前年比)	8月	+4.7%
貿易収支(USD)	7月	+23.1bn

＜お知らせ＞

筆者休暇のため、「ロシア為替週報」は10月25日の次回発行を予定しております。ご迷惑をお掛けしますが、よろしくご諒承ください。

(注1) 一部で観測された80万バレル/日ではなく

(注2) とりわけ非農業部門雇用者数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。